

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	静岡	曇天の影響を受け、8/中以降に定植した株のプラスチックが多く、出荷量減少・輪数不足による秀品率低下が目立っている。今出さずに仕立て直した分は年末～年明けに数がまとまってくると思われる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現 状</div> <p>各産地10月の天候不順の影響を受け、数量はある程度あるものの上位等級が少なく、優品や下位等級の割り合いが高くなる見込み。販売面ではブライダル、業務、葬儀主体の動きとなる。</p>
	福岡	10月出荷分までは順調な出荷。しかし、11月に入り9～10月の天候不順(曇天)の影響で各産地でプラスチック等が発生し、優品(2枝以下)の割合が増加。出荷量は減少に向かうが、気温低下で生育・開花も大きくは進まないことから12月はただらとした出荷が続く見込み。今後の天候次第な部分も大きい。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> <p>大田花き 主産地は静岡、熊本、長崎、大分となり、各産地天候の影響が無ければ例年並みの出荷となる見込み。販売面では上・中旬は買い控え等厳しい販売が見込まれるが、下旬は需要も見込まれ活発な取り引きが見込まれる。</p>
	熊本	10月の曇天の影響で一部でプラスチックの発生が見られ、生育スピードを落としている。12月上旬ごろには主要産地の出荷が出そろってくる見込みであり、下旬にかけて数量増加していく。12月の出荷量は昨年よりやや減少を見込む。	<p>FAJ 関東から九州にかけて順調な入荷見込まれる。引き合いは年末需要に向けて活発な取引に。</p> <p>東日本板橋花き 暖地物中心の入荷。年末に向け入荷量は徐々に増えてくる。愛知県産一部で8月から10月の天候不順でサイズがでない所もある。</p>
	大分	10月の長雨・日照不足に伴う出荷遅れが予想される。秀品率が少なく中心規格は優70・60cm中心の出荷となる。12月に出荷できない産地は年明けに出荷予定	<p>世田谷花き 福島県産が一段落し、熊本・高知・静岡県産が増えそう。</p>
	沖縄	今シーズンの出荷は12月から開始となり、定植時期の高温の影響もあり年内は優品中心の出荷の見込み。	<p>東京フラワーポート 各産地遅れ気味のため12月にずれ込むため数量は多くなる。</p>
	バラ	茨城	・昨年並みの出荷量となる見込み。 ・一部の産地で若干のうどんこ病の発生が見られるが、全体的に品質に問題なし。
群馬		10月の日照不足が原因で現在の出荷量は平年よりも少なく、一部の品種でややステムが細く柔らかい傾向が見られる。11月の気象は安定していたことから12月中旬以降には品質は回復してくるとみられる。同様に曇雨天の影響でうどんこ病や灰色かび病の発生が見られたが、天候回復と防除対策により大きな問題にはなっていない。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> <p>大田花き 国産は加温期となり中旬以降は緩やかな増加傾向となる。クリスマス装飾需要には、輸入商材も含めて赤系主体に引き合い強め、年末年始の需要では、華やかな色目が好まれることとなる。</p>
大分		12月出荷については中旬よりやや増加。栽培状況として朝晩の冷え込みが厳しく暖房にてコントロールはしているもののダラダラ出荷になる見込み	<p>FAJ クリスマス・年末需要に向けて数量まとまってくる見込み。平年並みの数量を予定。</p> <p>東日本板橋花き 入荷量は年末需要に向けて増加してくる見込み。</p>
			<p>世田谷花き クリスマスに向け、赤バラの需要が始まる。但し入荷は少ない。</p> <p>東京フラワーポート 前年並みの入荷見込だが燃油高傾向で温度を上げきれない産地も不安としてある。</p>

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地
				期間		ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
ストック	山形	秋冬出し	アイアンシリーズ カルテットシリーズ ほか	10～3月		1,900	988	35	30	35	JA庄内たがわ JA庄内みどり JA鶴岡 JAさがえ西村山 JAみちのく村山 JA山形 JA山形市 JA天童 JA山形おきたま ほか
				(11～翌2月)	(98%)	(125%)	(125%)				
	千葉	施設		11～4月	40	250	125	10	40	50	館山市、南房 総市、鴨川市
				(2～3月)	100%	333%	380%				
			11～3月	2%	45	45	10	40	50	いすみ市、勝浦 市、大多喜市	
			(12～1月)	100	780%	780%					
			11～2月	1%	30	30	20	30	50	君津市、袖ヶ 浦市	
			(12月)	100	200%	200%					

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	山形	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出荷開始以降、極端な高温もなく、ほぼ平年並みの出荷となっている。 ○ 12月の出荷量は、少なかった前年に比べ多く、平年並みを見込んでいる。 ○ 病害虫はほとんどみられない。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">現 状</div> <p>山形中心の入荷で、SPは短い丈で花芽分化しており、昨年と比べて前進傾向。STは例年並み。千葉県産は概ね12月入ってからの出荷となり、一部遅れもある状況。品質は安定しており堅調な相場推移となる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">見 通 し</div> <p>大田花き 千葉県産が上旬より出荷開始となる。山形県産はやや前進傾向の為、上・中旬にはやや減少する可能性あり。下旬は例年並みかやや少なめで推移し、逼迫する納品日も想定される。</p>
	千葉	<ul style="list-style-type: none"> ①前年は生育が大幅に遅れたが、今年は平年並の出荷量で、12月中旬から出荷が多くなる見込み。台風による被害は軽微。 ②西岬共選はアイアンシリーズが中心。その他はカルテットシリーズが中心。 	<p>FAJ 引き続き千葉主体。徐々にロットまつまり色目も白・ライトピンク・ラベンダー中心に安定出荷。</p> <p>世田谷花き 山形・福島に加え、千葉県産の入荷も増え、各色潤沢。</p> <p>東京フラワーポート 高冷地産が減少したままダラダラ出荷年明けまでずれ込む。</p>